

県政と皆様を結ぶ情報誌



# 県政報告

vol.3

2019.12月発行



愛知県議会議員

# 神谷まさひろ

「日記形式での県政報告」第3弾をお届けします。今回は締め切りの関係で第2弾でお伝え出来なかった愛知県議会9月定例会最終日の模様から、12月定例会直前までの内容です。愛知県の事業と関係している各種大会への参加や、県外調査の様子など、議会開会中以外の活動内容です。ぜひご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



## 10.15 9月定例議会 最終日

9 月定例議会の最終日。各常任委員会の委員長からそれぞれの委員会の審査報告が行われた後、27件の議案を一括で簡易採決の結果、全ての議案が可決承認されました。

その後、当局も議員も全員起立した状態で閉会式が行われ、知事が挨拶の中で、先日の台風19号による被災地に対して愛知県が現在までに行っている支援について触れられました。



「被災地を支援すべく、13日には緊急消防援助隊として、名古屋市航空小隊1隊6名を長野県長野市へ派遣したほか、県警察からも災害派遣隊67名を

宮城県に派遣し、救出・救助活動等を行っております。また、厚生労働省からDMATロジスティックチームの派遣要請があり、現在8名を派遣し活動中であります。さらに本日から、総務省の要請に基づき県職員4名を栃木県栃木市に派遣し、災害応急対策活動を支援してまいります。」



上の写真は9月定例議会における自席からの一般質問の様子です

被災地に対する県民の想いを胸に、県民の代表として被災地において活動して下さる皆様方に心からの敬意を表します。

## 10.26 土 私学助成の拡充に向けて

**安**

城市の安城学園高校で開催された『ふれ愛ときめき 西三河フェスティバル2019』の式典に出席しました。高校の公私間格差是正・私立高校の授業料無償化実現の目的で毎年開催されているイベントです。「その要望を県議員に直接訴えられる場」ということで、この近隣の県議員が私を含めて7名出席しました。

刈谷市議会にも毎年[私学助成の拡充を国や県に求める]陳情が提出され、全会一致で採択されて来ました。つまりこれまでは「刈谷市議会から愛知県に拡充を求める立場」だったのですが、**これからは県議会議員として拡充をストレートに愛知県に求めて行きたい**と思います・・・来賓としてそのような主旨の挨拶をさせて頂きました。



## 10.30 水 約8,000名の参加者で福祉大会が盛大に開催

**愛**

知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された『第67回 愛知県社会福祉大会』に来賓として出席しました。

民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体役職員等、その他社会福祉関係者など合計約8,000名が集まったの大きな大会です。大会の最後には[大会宣言]と[大会決議]が協議されました。[大会決議]は行政や我々議員に対して今後力を入れて取り組んで行くべき内容が謳われていますので、**今後の福祉政策の指針**としてこの日記においても紹介します。



### 大会決議

- ① 地域福祉の中心的担い手である県・市区町村社会福祉協議会の基盤整備を一層強化されたい。
- ② ボランティア・市民活動、福祉教育への支援を充実強化されたい。
- ③ 民生委員・児童委員活動に対する支援を一層強化されたい。
- ④ 地域における生活困窮者に対する有効な支援のため、生活福祉資金貸付事業等のセーフティネット施策が機能するよう体制を拡充されたい。
- ⑤ 社会福祉法人の非営利性と公益性を踏まえ、現行税制を堅持されたい。
- ⑥ 大規模災害に備えた総合的な福祉支援活動の提供体制の整備を図るとともに、防災・減災対策を充実強化されたい。
- ⑦ 介護保険サービスの質の向上と安定的な運営及び介護予防と高齢者の生きがい対策を充実強化されたい。
- ⑧ 地域共生社会の実現のため、障害者総合支援法による施策を充実強化されたい。
- ⑨ 子ども・子育て支援新制度による保育事業等の量的・質的な充実や児童虐待予防の取組をはじめとする社会的養護施策を総合的に推進されたい。
- ⑩ 母子・父子・寡婦等に対する福祉サービスと就業支援等の自立支援策を充実強化されたい。
- ⑪ 社会福祉施設の整備と運営体制の支援を強化されたい。
- ⑫ 福祉・介護・保育人材の確保、育成、定着のための総合的な対策を一層充実強化されたい。



## 11.6 水 グラウンドゴルフ場の整備に向けて

**以** 前からグラウンドゴルフをやっておられる複数の方より「幸田町にグラウンドゴルフ専用の素晴らしい施設があるから一度見ておくと参考になるよ」と聞いていました。

今日、関係者の方からお誘いを受けましたので、関係者3名と仲間の刈谷市議会議員さんと一緒に見学に行ってきました。途中、**国道23号線の高架下に整備されている安城市の施設と西尾市の施設**も見て来ました。「雨に濡れることなく楽しむことが出来るグラウンドゴルフ専用のスペースが整備されていることは羨ましい」と思って見ていたのですが、幸田町の大日陰グラウンド・ゴルフ場に到着して更に驚きました。

幸田町にある施設は延面積31,800㎡、5面に亘り**常設80ホール、天然芝の素晴らしい施設**で、大会等で予約をして使う場合には有料となりますが、少人数で楽しむ場合には予約は不要で、突然行っても無料でプレーすることが出来ます。今日も「せっかく来たのだから」と言うことで、5名で16ホールプレーを楽しみました。



グラウンドゴルフは手軽に楽しむことが出来て、健康作り・認知症予防・仲間との交流など非常に魅力のあるスポーツです。そして以前から**「刈谷市にも専用の施設を」**という声が多くあります。その候補地としては先の9

月定例会一般質問で私が質問した亀城公園西側にある逢妻川の河川敷があるのですが、その場所は洪水を一時的に貯留する調節池として未だ整備が完了していないため、刈谷市としても運動公園として整備を進めることが出来ない状況なのです。**今後は県に対して調節池整備の推進を働き掛けると共に、市議会議員の皆さんと協力しながらぜひとも実現したいと思っています。**



逢妻川洪水調節池



◀この調節池を平常時は運動公園として利用→その中にグラウンドゴルフ場も整備して欲しい

## 11.10 日 祝！ 日本ボーイスカウト愛知連盟創立70周年

**名** 古屋観光ホテルで開催された『日本ボーイスカウト愛知連盟創立70周年祝賀会』に出席しました。

ボーイスカウトは、自然と平和を愛する健やかな青少年を育成する世界運動で、愛知県には現在14地区178団あり加盟員9,522名となっています。**愛知県議会の中にも「ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会」があり**今日はその中から30名ほどが出席していました。



ボーイスカウト振興愛知県議会議員懇談会会長の堀寄副議長さん

司会はCBCアナウンサーの澤朋宏さん。ご自身も小学校の頃

からボーイスカウトに入っておられ、現在もボーイスカウト日本連盟の団支援・組織拡充委員会の副委員長をやっておられます。出身が西尾市とのことで、共通の知り合いの話で盛り上がりました。

また、ガールスカウト愛知連盟の平尾副連盟長とも話をすることが出来て、連盟の抱えている課題などをお聞きすることが出来ました。ボーイスカウト・ガールスカウトの発展に微力ながら県議の立場で尽力して参る所存です。



CBCアナウンサーの澤朋宏さん



## 11.14 木 北海道胆振東部地震に関する県外調査

**昨** 日と今日の2日間、愛知県議会の安全・安心対策特別委員会の県外調査に出かけました。

昨日は先ず初めに札幌市役所において北海道胆振東部地震による被災状況と被災時の対応(観光客を含む外国人対応・ブラックアウト対応・土砂災害対応)、復旧・復興状況などの説明を受けました。その後、昨年の4月にオープンした[さっぽろ創世スクエア]に出かけて、施設の防災機能を現場で見学しました。実はこの[さっぽろ創世スクエア]、震災当時は未だ完成していませんでした。しかし大規模停電(ブラックアウト)でも自家発電と周



辺への供給を続け、更には帰宅困難対策で施設を解放し、外国人観光客に対しても多言語で誘導するなどして多数の避難者を受け入れていたのです。臨機応変に対応した素晴らしいトップの決断であったと思います。

そして2日目の今日は、地震の震源地である厚真町に行き、会議室で災害の対応と復旧・復興状況についてお聞きした後、被災現場である吉野地区・宮里浄水場・厚幌ダムや仮設住宅を視察しました。北海道初の震度7の被害の復旧・復興に対して国・県・自治体の区別が煩雑さを招いているように感じました。結局最終的には地方交付税・特別地方交付税を交付するのであれば最初から全額国費で賄えば補助金事務の簡素化を図れるのではないかと感じました。厚真町は年間予算の3倍の復旧・復興予算が必要ですから、当然不足分を交付税措置しているのです。



## 11.19 火 12月定例会に向けて 無所属議員6名の[連絡会]

**愛** 知県議会12月定例会に提出される議案などについて、私たち6名の無所属議員に対して説明をする[連絡会]が開催されました。

12月定例会に予定されている議案は予算議案が10件、条例議案が8件、その他議案が13件の合計31件です。その中に[愛知県県営住宅条例の一部改正について]の議案があり、「県営住宅の入居に際して今後は連帯保証人が必要なくなる」との改正でした。

理由としては「保証人を確保できないために入居できない事態が生じないようにするため」とのことですが、一方で今の「連帯保証人が必要」といった制度が実際は機能していないのではないかと(つまり、連帯保証人に債務を請求できない事例が増加している)とも思っています。

また警察本部からは[交通事故死者数ワースト1位返上に向けた広報活動について]の説明がありました。

愛知県における交通事故死者数は11月18日現在で

133人と昨年の同時期に比べて34人の大幅減となっていますが、それでも全国ワースト3位です。またこれまでに16年連続してワースト1という不名誉な記録を残しています。

そこで12月定例会の開会日に[交通死亡事故の根絶についての決議]をすると共に、高齢者ドライバー交通安全セミナーや、年末の交通安全県民運動出発式などに議員としても積極的に参加して交通安全の啓発に協力して行くことの呼びかけがありました。

